

一般社団法人 大阪市学校歯科医会報



目 次

会長挨拶	3
支部長就任挨拶	4
令和4年度 年間活動報告書(抜粋)	6
公益社団法人日本学校歯科医会 第108回 定時代議員会	9
第9回 歯・口の健康づくり研修会	10
第47回 近畿北陸地区学校歯科医会(学校歯科部)連絡協議会	14
令和5年度「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」	
「歯・口の健康啓発標語コンクール」審査会	17
令和5年度「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」	
「歯・口の健康啓発標語コンクール」表彰式	22
令和5年度 社会見学会	24
公益社団法人日本学校歯科医会 第109回 臨時代議員会	26
令和5年度 第2回 支部長会	27
第87回 全国学校歯科保健研究大会(大阪府)	28
第73回 全国学校歯科医協議会(兵庫県)	33
令和5年度 全国学校保健・安全研究大会(兵庫県)	34
令和5年度 大阪二学歯連絡協議会	37
令和5年度 大阪市学校歯科医会 会員研修会	38
会務報告・子どもの歯を守る懇談会	40
学校歯科保健教材器具貸出申込書	42
お知らせコーナー／ホームページ更新情報／編集後記	43

会長挨拶

一般社団法人大阪市学校歯科医会
会長 西本 達哉



会報誌185号発刊にあたりご挨拶申し上げます。平素は会務運営にご協力賜り誠にありがとうございます。元日には能登半島に地震が発生し甚大な被害をもたらしました。多くの亡くなられた方にお悔やみを申し上げると共に、一日も早い復興をお祈りいたします。

新型コロナウイルス感染症は昨年5月に第5類となり、学校現場はコロナ禍以前の状態に戻りつつあるようです。そのような時に小学校6年生の歯科保健指導が市教委の事情により希望された学校が実施できないという事態になりました。市教委には断固抗議して何とか解決策を探しましたが、結局155校もの学校が希望しても実施できないという本当に残念な年になりました。令和6年度は市教委の課長も不退転の決意を持って望むと言われて、解決策として非常勤歯科衛生士を公募し、2・4・6年生の歯科保健指導に臨む態勢ができる目途が立ちました。幼稚園の歯みがき指導も令和6年度は希望した全幼稚園で実施できるとこども青少年局から聞いています。令和6年度はぜひコロナ禍前の歯科保健指導に戻る新たなスタートを切って頂きたいと思います。さらに5年生は小学生歯みがき大会があります。学校と相談して授業の一角を確保して頂けたら、指導用のDVDやデンタルフロスなど無料で提供していただけます。大阪市の小学校の参加率は30%程度でまだまだ低いのでぜひ1校でも多くの学校の参加をお願いいたします。

図画ポスター・標語コンクールの表彰式が読

売新聞大阪本社にて開催されました。その様子は昨年12月に読売新聞大阪版にも写真入りで掲載されましたのでご覧になられた先生方も多いのではないかと思います。図画ポスター・標語コンクールのカレンダー第4弾もできました。今回は入賞作品のみの掲載となり、ぜひ会員の先生方の診療所に飾って頂けたらと思います。

第87回全国学校歯科保健研究大会は、昨年10月19日に大阪国際交流センターにて開催されました。22年ぶりの大阪での開催となり、市学歯からは303名の先生方に参加登録して頂きました。大阪市立常盤幼稚園が全日本優良校表彰で最優秀の文部科学大臣表彰を受賞され、地元大阪大会での表彰となりました。大阪市立の幼稚園の大臣表彰は4年連続の快挙となります。市学歯からはポスター発表も2題行い、戦前の歯科保健指導に使われた掛け軸も展示しました。大阪府歯科医師会・府学歯・市学歯が力を合わせて盛大に開催できましたこと、会員の先生方にも御礼申し上げます。

昨年6月の定時総会でそれまで理事のいなかった支部に5名の新しい理事が誕生しました。阿倍野区の山崎徹也先生もその一人ですが、残念なことに11月2日に急逝されました。ちょうど中央図書館の図画ポスター・標語コンクールの搬入作業の日で、山崎先生も作業に来られる予定でした。誰もが信じられませんでした。これから市学歯にとって大きな力になって下さるものと大変期待しておりました。ご冥福をお祈りいたします。

支部長就任挨拶



北区・大淀支部長 尾辻 淳

この度、美島達平先生に代わり北区・大淀支部長に就任致しました尾辻淳と申します。北区は北区北と北区大淀で各校園の担当をしております。北区もタワーマンション等が林立し人口も増加しており、保健センターでの乳幼児健診数、幼稚園、小・中学校の児童生徒数もかなり増加しております。

また、コロナ後各校園での対応について色々と配慮しなければいけない問題もあると思います。

市学歯の先生方のご指導を賜りながら又地区の先生方と協調して学校歯科保健活動を着実に遂行して参りたいと思います。

今後とも宜しく願い申し上げます。



都島区支部長 玉井 秀人

令和5年度より、岡山哲郎先生に代わり都島区支部長に就任いたしました玉井秀人です。付随するような形で都島区学校保健協議会の役員もさせて頂き、先日都島区の学校保健大会が開催され、今年度は歯科医師会が講演の担当年度に当たり、幹事をさせて頂きました。

都島区は京橋を中心とした南部の商業地域、谷町線の都島～野江内代周辺の住宅地域、その北部の淀川周辺と多様な顔を持っています。

私も近隣の京橋エリアの中学校を担当させていただいて12年経過しました。担当中学校は衛生意識の高い学校ですが、所々に変化が見られます。コロナライフが大きい要因だったと思われます。

時代の変化に即して学校職員皆様、PTA・行政と連携を図って会務に専念していきたいと存じあげます。以後よろしく願い申し上げます。



此花区支部長 笹森 智絵

このたび、令和5年4月に急逝された上野正幸先生に代わりまして此花区支部長に就任いたしました笹森智絵です。大変まじめに、そして熱心に支部長職に取り組んでいらっしやう上野先生の後継として恥じぬよう、学校歯科保健活動に貢献していく所存です。

此花区は面積のわりに人口の少ない区ですが、2025年の大阪万博を控え、大いに活気づいています。新しいファミリー向けマンションの建設も立て続いており、今後の児童・生徒数にも変化があるのではと思います。

会員が一丸となり、教職員や行政とともに此花区の子どもの歯・口の健康を支えるための活動に寄与できたらと思います。

他地区の支部長先生、理事の先生方には、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



淀川区支部長 大塚 健司

令和5年4月より、伊藤公人先生に代わり淀川区支部長に就任させていただきました大塚健司です。淀川区は大阪市の北部に位置しており豊中市と接しております。区内では27校園があり、新築マンションの建設により、生徒数の増加している学校と地区住民の高齢化による少子化により生徒数の減少がみられる学校が併存しております。これらの状況は刻々と変化していくものと思われれます。在籍している27名の会員の先生方と相互に緊密に連携を取り、地域の学校歯科保健活動に貢献していく所存です。皆様のご支援とご鞭撻をよろしくお願いいたします。



生野区支部長 渡内信嘉

今年度より林昭典先生に代わり生野区支部長を拝命しました渡内信嘉です。

生野区は少子化が進み、学校の統廃合が行われ、また、市立から府立に移管された学校もあり、10年前に32校であったのが現在は24校になり、少し寂しい状況です。中でも生野支援学校には支部独自の活動として約30年間にわたり、歯ブラシ指導を行ってまいりました。学校の先生、保護者、歯科医師、衛生士が各自作業分担しながら例年40名程度の中学1年生の生徒を対象に行ってまいりましたが、残念なことに8年ほど前に府立に移管してからは事業が途絶えております。何とか復活できないかと模索中です。また、生野区の地域の特徴として外国人の児童生徒が多く、韓国・中国・ベトナム等バラエティ豊かな地域になっています。

私の担当しております東中川小学校は、私の母校であり、就任時には長男、次男も通学しておりました。それから25年、こんなに長く務める予定ではなかったのですが、これもご縁ですので、もう少しの間、支部の先生方と力を合わせて、地域の学校保健活動のお手伝いをさせていただこうと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



城東区支部長 坂東 慶一

令和5年4月より松本晃一先生に代わり城東区支部長に就任させていただきました。城東区支部は24校園の学校園歯科医に、歯みがき指導、フッ化物洗口、学校検診、学校歯科保健協議会などの多数の行事に参画し精力的に活動をしていただいています。城東区は現在、蒲生4丁目を中心に人口が増加しています。私の担当している小学校は最近まで平均各学年2クラスと、少子化の波をうけていましたが学校周辺に大規模なマンションが建ち、今期の就学時検診では入学生の増加により3クラスにする予定だそうで、他の学校でも生徒が増加している様です。私たちは常に研鑽をし、これからも様々な変化に柔軟に対応し、地域の学校歯科保健活動に貢献していく所存です。皆様のご支援とご鞭撻をよろしくお願いいたします。

令和4年度 年間活動報告書の集計（抜粋）

	幼稚園	小学校	中学校	合 計
臨時健康診断				
あり	14	88	30	132 (30%)
なし	38	181	89	308 (70%)
ダブルミラー				
あり	37	240	108	385 (87%)
なし	11	33	14	58 (13%)
検診器具の消毒滅菌				
オートクレーブ	24	235	97	356 (77%)
その他の滅菌消毒方法	15	36	20	71 (15%)
外部委託	2	3	2	7 (2%)
ディスポーザブル器具	2	21	8	31 (7%)
健康診断の協力医				
あり	3	43	30	76 (17%)
なし	50	231	89	370 (83%)
個人指導・集団指導・講話などで学校への出務				
あり	9	29	19	57 (13%)
なし	41	243	100	384 (87%)
児童の外傷への昼休み等の診療時間外対応				
診療時間外でも対応	25	149	51	225 (51%)
診療時間内に対応	24	111	61	196 (44%)
その他	2	13	9	24 (5%)
園児・児童・生徒への外傷予防のマウスガード作製				
あり	3	12	10	25 (6%)
なし	50	259	112	421 (94%)
マウスガード講習会について				
実習あり、学会認定あり	8	47	21	76 (17%)
座学のみ	13	81	40	134 (30%)
希望なし	29	143	58	230 (52%)
園長・養護教諭と意見交換し連携できているか				
できている	49	268	116	433 (97%)
できていない	1	8	6	15 (3%)
学校の方針として児童全体で昼食後の歯みがきをしている				
歯みがきをしている	20	78	22	120 (32%)
コロナ禍以前より歯みがきをせず	5	55	10	70 (19%)
コロナ禍以後歯みがきをしていない	25	58	20	103 (28%)
把握していない	0	8	69	77 (21%)

（四捨五入による計算の丸め誤差が存在するため価の合計が100%にならないことがある）

令和4年度年間活動報告書での特筆すべき点は、その回答率が99.9%（未回答2名）（昨年89.8%）に達したことである。設問に関しては年々改善され幼稚園・小学校・中学校に分けて（高校は前年に府立に移行した）現場の意見をすい上げる工夫がなされ、また回答方法も簡易でわかりやすくなっている。

その内容の主だったものをあげると

①健診時のダブルミラー使用は87%であった。ダブルミラー使用の調査を開始した平成27年度では71%であったことから徐々にではあるが感染対策の意義としてダブルミラーテクニックが、学校歯科医にはもちろん校園側にも浸透してきたと考えられる。

②滅菌消毒方法としてオートクレーブ使用が77%に達している。オートクレーブ設置には多額の費用がかかるものであるが、市学歯からの強い要望もあり、またコロナ禍を経験した現場の養護教員の先生方からの意見も取り入れられて年々普及してきている。更なる設置を望むところである。

ほかには外傷対策として診療時間外でも対応すると答えた先生が51%になった。学校歯科医の対応には心強い思いである。また園・学校の方針として児童全体で昼食後の歯みがきの実施校は32%であり、コロナ禍以前では50%近くで実施されていたがまだ回復には至っていない。

《健診にかかった日数》

年間活動報告を開始した平成24年度（ここではデータはあげていない）より健診に要した日数は増加している。かつては小中学校ともに1～2日で実施していることが多かったが、令和4

年度では大半が2～3日以上かけて行っている。コロナ禍を経験して学校歯科医と校・園側との協議の結果、感染対策として密を避けるため生徒間の間隔をあけるなど、一人一人の健診に時間を要したためと考えられる。

《1時間当たりの健診人数》

健診に要する日数は増えているので以前に比べて余裕をもって健診に臨むことができているように思われる。小学校では1時間に60名までが67%であった。一方、90名以上の健診を余儀なくされている学校も12%であった。中学校では1時間に60名までが57%で、90名以上が14%であった。

1時間に90名以上の健診を、感染対策を考慮したうえで学校歯科医一人で受け持つには限界があるように思われる。このような事態に対して健診に協力医を帯同した学校歯科医は小学校で16%、中学校では20%であった。協力医のうち、日学歯の基礎研修を受講した歯科医は小学校で35%、中学校で33%にとどまる。研修未受講者による学校歯科健診の管理と責任の所在、整合性・統一性について市学歯としてどう対処すべきかが今後の課題である。

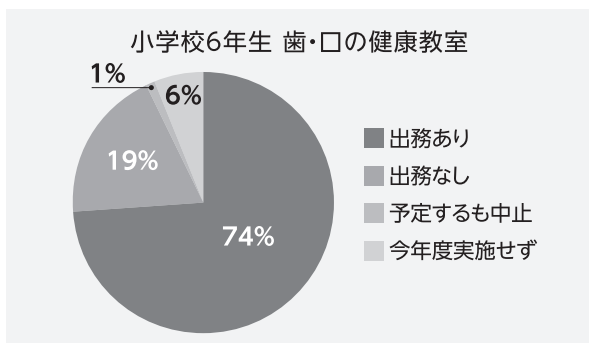
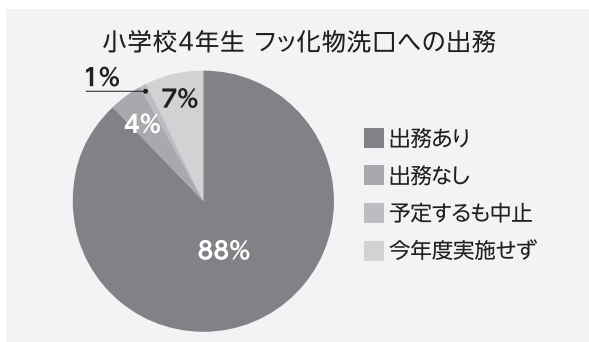
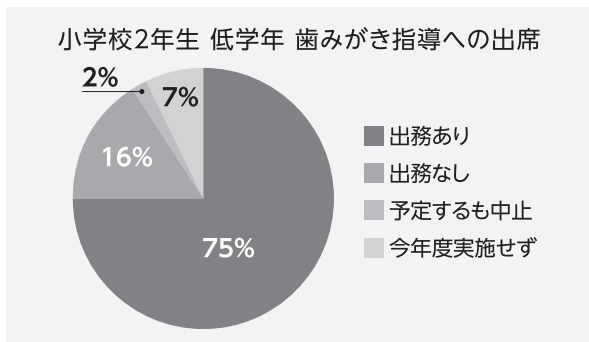
《感染対策備品の準備について》

学校歯科医が用意して持ってきている物の割合がかなり高いことが目立つ。一つには健診者である学校歯科医の感染防備に対する意識が高いことが推察される。

《学校歯科医の出務に関して》

小学校での各活動を昨年と比較してみると

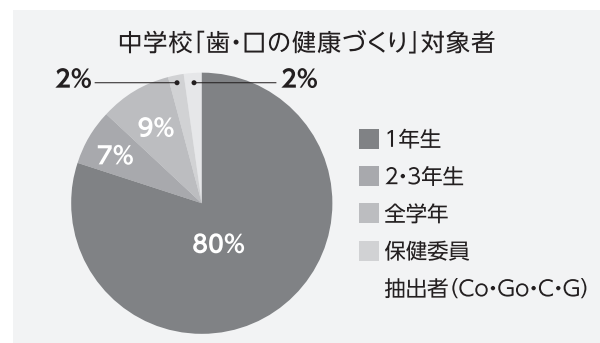
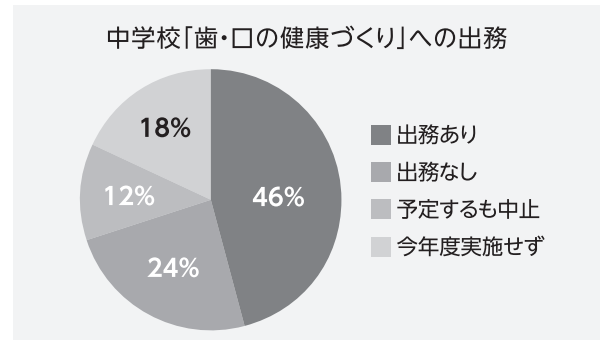
- ①2年生の歯みがき指導実施は67%から75%へ
- ②4年生のフッ化物塗布は75%から89%へ
- ③6年生の歯・口の健康教室は60%から73%へ



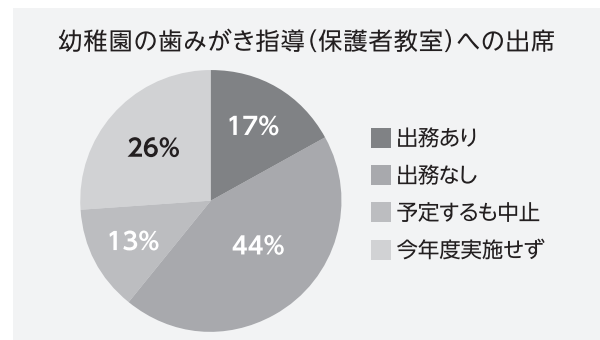
中学校での「歯・口の健康づくり」では昨年の13%から46%へと大きく伸びた。その実施学年として79%の学校で1年生を対象としていることがわかる。

昨年まで猛威を振るっていたコロナ禍の影響もここにきてようやく影をひそめ落ち着きを見せてきた。そういった中で本来の歯科保健活動に立ち戻ろうとする、学校歯科医と園・校

の努力の表れといえる。(それでも100%の実施には至っていないのは残念ではあるが年々歳々の実施率の上昇を望むところではある)。



幼稚園での保護者対象の歯みがき指導(保護者教室)への出務は昨年12%から17%にアップしているが、多くの園では実施されていないという現状である。保護者の方も仕事があり、平日日中の参加は難しいと考えられる。



今回100%近い回答率を達成でき回答いただいた先生方には心から感謝いたします。報告書のデータを基に更なる学校歯科医としての活動の充実を図ってまいります。

常務理事 藤原 成樹

公益社団法人日本学校歯科医会 第108 回定時代議員会

日 時 令和5年6月21日(水) 午後1時30分～

場 所 日本歯科医師会館 1階 大会議室

出 席 者 西本 達哉・藤野 康德

氏 名 点 呼



- 1.開会の辞 副会長 柘植 紳平
- 2.議事録署名人指名 岐阜県 荒井 孝仁・和歌山県 井内 洋
- 3.黙 禱
- 4.挨拶 会長 川本 強
- 5.来賓挨拶 文部科学省学校保健対策 専門官 堤 俊太郎
日本歯科医師会 会長 高橋 英登
日本歯科医師連盟 副会長 太田 謙司
委員長 富田 康則
- 6.選挙管理委員会(会長予備選挙報告) 委員長 富田 康則
- 7.各種報告
 - 1)会務報告 常務理事 竹内 純子
 - 2)会計報告 常務理事 阿部 直樹
 - 3)各委員会報告 各委員会担当常務理事
 - 4)監査報告 監 事 末高 英世
- 8.事業報告
 - 1)令和4年度 事業報告
- 9.議 事
 - 第1号議案 令和4年度貸借対照表及び損益計算書(正味財産増減計算書)及び財産目録承認の件
 - 第2号議案 監査規則の改定
 - 第3号議案 役員選任
柘植紳平代表理事(会長)以下20名の理事と3名の監事が選任された。
10. 予算決算特別委員会報告 委員長 大松 高
11. その他
12. 閉会の辞 副会長 齋藤 秀子

新役員

会 長 柘植 紳平

副 会 長 齋藤 秀子 山田 尚 平瀬 久義

専務理事 長沼 善美

常務理事 竹内 純子 吉岡 弘二 今井 健二 澤田 章司 水谷 成彦 佐々木 貴浩

理 事 阿佐見 葉子 苗代 明 安藤 栄吾 鶴屋 誠人 鈴木 あい子 松田 美代子

山本 哲也 依岡 弘明 岩永 正憲

監 事 末高 英世 田幡 純 三箇 正人

第9回 歯・口の健康づくり研修会

今年度の歯・口の健康づくり研修会
は大阪市立小学校の養護教諭を対象
として開催しました。

新型コロナウイルス感染症において
令和5年5月8日から感染法上の位置
付けが5類感染症にはなったものの感
染拡大を考慮し、今回も参加人数を制
限して32名の先生に参加していただ
きました。小規模開催だったため参加
者からの意見が出やすく充実した内容
となり、滞りなく研修会は終了しました。



日 時 令和5年8月24日(木) 午後3時～午後5時

場 所 大阪市教育センター 7階 第4研修室

主 催 一般社団法人大阪市学校歯科医会

司 会

1. 開会の辞

2. 会長挨拶

3. 大阪市教育委員会挨拶

4. 研修

(1) 座学「かむことの重要性」

(2) 歯みがき指導

(3) 咀嚼チェックガムと判定アプリ

(4) お口の万歩計(かみかみセンサー)

(5) 口唇閉鎖力測定器(りっぷるくん)

5. 質疑応答

6. ホームページ活用方法のお知らせ

7. 修了書授与

8. 閉会の辞

専務理事 讃井 茂行

副会長 河野 好昭

会 長 西本 達哉

課長代理 川村 晃子

常務理事 吉松 昌之

大阪市教育委員会係長 戸木 優子

理 事 中川 敦嗣

理 事 梅山 勇樹

常務理事 藤原 成樹

常務理事 弘田 和彦

副会長 川上 力

副会長 上田 裕彦



咀嚼チェックガムと判定アプリ

咀嚼回数によって色が変わる「咀嚼チェックガム」を噛んだのち、色の変化を数値化する判定アプリにて測定。

自分がどれくらい咀嚼できているかを体験してもらった。またしっかり噛むことで唾液の分泌量が増加することも体感してもらった。



お口の万歩計(かみかみセンサー)

『卑弥呼の歯がいーぜ』

咀嚼の重要性を説明したのち、咀嚼回数をカウントする「かみかみセンサー」を体験してもらった。



口唇閉鎖力測定器(りっぷるくん)

お口ポカンや口呼吸による悪影響を解説したのち、「りっぷるくん」を使用して自分の口唇閉鎖力を測定。



修了書授与

会報誌を配布し、本日実習をした「咀嚼チェックガム」「かみかみセンサー」「りっぷるくん」は当会から貸出があること、それらを用いて今後の保健教育活動に活用してほしいことを説明した。

その後、参加した先生に修了書を授与。

理事 梅山 勇樹

感想

榎本小学校 養護教諭

山本 菜々香

第9回「歯・口の健康づくり研修会」に参加させていただきました。

まず、始めに子どものうちから正しい口腔機能を獲得することの重要性をお話していただきました。特に、上あご下あごの発達には舌の位置が大切であり、あいうべ体操などを用いて舌を柔らかくすることが重要であるということをお話することができました。

また、キシリトール咀嚼チェックガムと判定アプリは、2学期に4年生に実施する予定ですが、私自身体験したことがなかったため、今回体験することができてとてもいい経験になりました。咀嚼力は普段あまり意識することが少ないですが、チェックガムで自分の咀嚼力を可視化することで、子どもたちの意識が高まるきっかけになると思いました。その他にも、かみかみセンサー、りっぷるくんを体験させていただきました。特にりっぷるくんを体験してみて、自分自身の口唇閉鎖力が思ったよりも低く、とても驚きました。体験を通して自分の今の状態を知ることの大切さを学ぶことができました。

今年の3月より、感染症対策のためのマスク着用が個人の自由となりました。これまで、子どもたちのマスク姿ばかり見ており、口元を見る機会があまりなかったのですが、マスクをする子が少なくなり、口がポカンと開いている子がとても多いなと感じるようになりました。大人もそうだと思いますが、マスクをしていると、

あまり口元の筋肉を意識しなくなるので、約3年続いたマスク生活の影響はとて大きいと感じます。

今回の研修会で学んだこと、体験させていただいて気づいたことを、子どもたちにも伝え、学校歯科医とも連携しながら、自分の歯と口を大切にできる人を育てたいと思います。

佃小学校 養護教諭

平野 美和

この度、「第9回歯・口の健康づくり研修会」に参加させていただき、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。

「かむことの重要性」の講話では、生涯、健康な歯と口を保つためには、小学生の間に良い口腔機能を獲得することが重要であり、そのためには普段から子ども達の様子を見て、機能的な面で気になる児童を見つけることが大切になると教えていただきました。学校では、普段から授業時や給食時間の児童の様子に着目し、担任と連携を取りながら、養護教諭として、歯と口の健康管理をしっかりと担うことが大切だと痛感しました。

また、咀嚼チェックガムや、口唇閉鎖力測定器を使ったワークショップを実施していただいたことで、自分もワクワクした気持ちで参加し、結果をすぐに確かめることができたのは大変興味深く、改めて噛むことの大切さを実感できた貴重な機会となりました。歯をていねいに

みがく、鼻呼吸を行う、あごをしっかり動かしてよく噛んで食べることなど、日ごろからの良い生活の心がけが、体全体の健康保持へとつながることを、今回の研修会で、再認識することができました。

視覚に訴えた体験的な学びは、子どもの興味や関心を引き出し、子ども自らが健康な体づくりを実践するといった行動変容につなげることができると思います。子ども達が生涯にわたって自分の健康な歯と口で過ごせることを目標に、これからも学校歯科医と連携を取りながら、今回学ばせていただいたことを積極的に取り入れて、今後の保健教育や健康管理に活かしていきたいと思います。

最後になりましたが、大阪市学校歯科医会の先生方には、貴重な研修の場をご準備いただき、ありがとうございました。

宝栄小学校 養護教諭

伊藤眞美子

学校歯科医の先生方や歯科衛生士の方から直接指導していただける機会が充実した実習内容でした。マスク着用期間約3年間で、学齢期の子ども達の口腔機能低下を感じており、態癖(片噛み・頬杖など)や不正咬合など口腔機能発達にアプローチできることはないかと模索していました。「かむことの重要性」の講話では、口腔の正しい機能を教えること、上顎の成長を促すこと、しっかり噛むことで刺

激になり生え変わる永久歯の根が長く強くなること、舌を柔らかくすると可動域が広がることなども教えていただきました。歯みがき指導では、歯磨剤11種類を2cm出して、香りや粘性などの違いを実感することができました。歯ブラシに2cmの歯磨剤(歯に良い薬効成分が多く、以前より発泡しにくい物になっている)を使用すると良いと聞きました。大人でも歯みがきがしにくい箇所は、いつも同じなので奥歯や前歯の裏側の磨き方の工夫の仕方なども紹介していただきました。咀嚼チェックガムや口唇閉鎖力測定(りっぷるくん)体験では、結果が数値化されるため、子ども達でも楽しみながら学ぶ機会になります。お口の万歩計(かみかみセンサー)は噛むことの重要性を食育の観点からも興味関心を育て、「噛む」行為を意識すればかむ力が高まり食べ方も変化する行動変容につながっていくと感じました。今回のような体験活動は、子ども達自身が自分の体の発育発達の状態を知る機会になり、歯と口の健康について考えるきっかけになると感じました。全身と口腔機能の関連などが少しでも理解でき、態癖などにも意識が向いてくれば、より実践的にもなると感じました。貴重な資料や体験など研修の場を準備していただいたことに感謝するとともに今後も継続してより多くの養護教諭が参加できる機会を持っていただきたいと思います。ありがとうございました。

第47回 近畿北陸地区学校歯科医会(学校歯科部)連絡協議会

日 時 令和5年8月26日(土) 午後1時30分
場 所 ANAクラウンプラザホテル神戸
出 席 者 西本 達哉・上田 裕彦・川上 力・讃井 茂行・吉松 昌之・弘田 和彦
司 会 兵庫県歯科医師会 理 事 竹中 博

1.開会

2.挨拶 兵庫県歯科医師会 会 長 橋本 芳紀

3.来賓挨拶 日本学校歯科医会 副会長 山田 尚

兵庫県教育委員会 体育保健課長 内藤 敦志

4.出席者紹介

来賓 日本学校歯科医会 副会長 山田 尚

専務理事 長沼 善美

兵庫県教育委員会 体育保健課長 内藤 敦志

出席団体名 兵庫県歯科医師会 富山県歯科医師会 滋賀県歯科医師会 京都府歯科医師
会 石川県歯科医師会 和歌山県歯科医師会 大阪府歯科医師会 大阪府学
校歯科医会 大阪市学校歯科医会 福井県歯科医師会 奈良県歯科医師会

5.座長・副座長選出 座長 兵庫県歯科医師会 副会長 森田 健司

副座長 富山県歯科医師会 理 事 山森 喜子

6.報告

(1)公益社団法人日本学校歯科医会報告 【日本学校歯科医会】

(2)第73回全国学校歯科医協議会 【兵庫県歯科医師会】

(3)公益社団法人日本学校歯科医会特別委員会委員への推薦について 【兵庫県歯科医師会】

(4)その他

7.協議事項

(1)「経過観察」の表現について 【富山県歯科医師会】

(2)新型コロナウイルス感染症5類移行後の歯科健診について 【和歌山県歯科医師会】

(3)学校歯科保健指導における学習用端末の応用について 【大阪府学校歯科医会】

(4)ICT応用の健康診断システムについて 【大阪市学校歯科医会】

(5)矯正治療後の問題点の対応について 【大阪市学校歯科医会】

(6)全日本学校歯科保健優良校表彰について 【兵庫県歯科医師会】

(7)日本学校歯科医会「近畿北陸ブロック」理事特別委員会委員等選出について 【兵庫県歯科医師会】

8.情報交換

(1)新規採用養護教諭への学校歯科保健研修について 【滋賀県歯科医師会】

(2)小学校の学校歯科健康診断の回数について 【京都府歯科医師会】

(3)新型コロナウイルス感染症5類感染症移行後の学校歯科健康診断の感染対策について
【京都府歯科医師会】

- | | |
|------------------------------|-------------|
| (4) 小学校におけるフッ化物洗口実施状況について | 【京都府歯科医師会】 |
| 学校・園でのフッ化物洗口の推進と現状について | 【大阪府学校歯科医会】 |
| (5) 日学歯入会の喚起の仕方 | 【石川県歯科医師会】 |
| (6) 学校健診の健診結果について | 【和歌山県歯科医師会】 |
| 学校歯科健診の判定基準について | 【兵庫県歯科医師会】 |
| (7) 学校歯科医の希望者不足について | 【和歌山県歯科医師会】 |
| (8) 口腔外傷の予防および減少を目的とした事業について | 【大阪府学校歯科医会】 |
| スポーツ歯科普及のための活動について | 【大阪市学校歯科医会】 |
| 「スポーツ推進審議会」への召喚、参画 | 【兵庫県歯科医師会】 |
| 各府県においてスポーツ歯科の活動状況について | 【兵庫県歯科医師会】 |
| 県スポーツ協会「スポーツ医科学委員会」への参画について | 【兵庫県歯科医師会】 |
| (9) 会員へのアンケート調査について | 【大阪市学校歯科医会】 |
| (10) 不登校児童生徒等の対応について | 【兵庫県歯科医師会】 |

9. その他

10. 次期当番県挨拶

富山県歯科医師会 理事 山森 喜子

11. 閉会

大阪市学校歯科医会からの協議題について各団体からの回答(抜粋)

【題目】ICT応用の健康診断システムについて

【要旨】ICTを応用した健康診断システム(校務支援システムではなく定期健康診断のICT化)の導入を検討しているが、全校に導入するにはかなりの経費が掛かり困難である。コロナでの感染対策費でオートクレーブを購入した経緯があるが、都道府県によるICT普及のため特別な予算が付いている地域があるのか。またはこのような予算を活用している等お知恵があればご教示いただきたい。その他ICTを応用する方法をご協議いただきたい。

【回答】各団体ともにICT普及のための予算はなく、要望にも至っていない。

日本学校歯科医会： 柘植会長が使用しているあすなろ健診により、上手く学校健診が実施できている地区が岐阜県にあることは承知している。ただ、特定の企業一社のみを採り上げるわけにはいかない。文科省に問い合わせたところ、校務支援システムがほぼ100%普及している。そのシステムの中の歯科健診部分が少し劣っている。このソフトへの改善の要望の声を地域から上げて欲しいということだった。ソフト改善のための支出は問題ないとのことだ。あすなろ健診を導入するのではなく校務支援システムを改善していく方向でお願いしたいとしている。

【題目】矯正治療後の問題点への対応について

【要旨】定期健康診断時に「歯列・咬合2」とした場合、事後措置について様々な配慮がなされているが、顎顔面矯正やその他矯正等治療後の状態に問題が残っている場合、保護者や児童また担当歯科医への対応を伺いたい。かかりつけ医と保護者との契約があるので、こちらからの介入は難しいと考えるが、学校歯科医としての対応を伺いたい。

【回答】各団体では特に問題にはなっていない。

日本学校歯科医会： 検診の判定基準では矯正治療中であれば判定1となる。判定2となるケースは数値で客観的に判定し、養護教諭と相談して「お知らせ」を発行して欲しい。小学校から中学校の成長の過程で、発音や咀嚼に問題がないかしっかりと判定し、次に繋げるのが我々の職務であると考えている。

大阪市学校歯科医会からの情報交換について各団体からの回答(抜粋)

【題目】スポーツ歯科普及のための活動について

【要旨】スポーツ歯科普及のため会員対象に日本スポーツ歯科学会公認マウスガード製作講習会の開催、もしくは参加助成を実施しているが、他地域においてはどのような活動を実施しているか伺いたい。

【回答】大阪府学校歯科医会： スポーツの時だけに外傷が起こるのではなく、学校生活において体育の授業、休憩時間や通学時に多数発生している。そこで、生活面から安全を確保するため、廊下を走らない、階段を飛び降りない等、学校歯科医が指導していくのが使命と考え、学校安全研修委員会と名称を改め活動している。このような地道な活動を通じて、東大阪市が全国で3番目となる自治体からのマウスガードの補助金を支給されることになった。

【題目】会員へのアンケート調査について

【要旨】大阪市では前年度の会員の活動状況及び要望の把握のため、年度初めにアンケートとして年間活動報告書の提出をお願いしている。方法としてはWebによる回答としている。以前には養護教諭対象に同じ方法で実施した。他地域ではアンケート調査を実施しているか、実施しているなら、どのような内容か等もご教示いただきたい。

【回答】残念ながら時間切れとなり、継続審議となった。

副会長 上田 裕彦



令和5年度「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」 「歯・口の健康啓発標語コンクール」審査会

日	時	令和5年9月7日(木) 午後2時～		
場	所	大阪府歯科医師会館 4階 大ホール		
主	催	一般社団法人大阪市学校歯科医会		
後	援	大阪市教育委員会		
審	査	員	大阪市学校歯科医会 大阪市教育センター指導主事、大阪市立天王寺中学校主務教諭 読売新聞社、株式会社P&A、株式会社モリタ	
協	賛	企	業	サンスター株式会社、スモカ歯磨株式会社、株式会社日本トリム (50音順) 株式会社P&A、株式会社まなびやPLUS、株式会社モリタ、株式会社ロッテ

●図画・ポスター

応募総数407点(幼稚園13点、小学校367点、中学校27点)より1次審査で入賞作品43点(幼稚園5点、小学校30点、中学校8点)を選出しました。最終審査で入賞作品の中より最もすぐれた作品4点(幼稚園1点、小学校低学年1点、小学校高学年1点、中学校1点)を大阪市代表作品とし公益社団法人日本学校歯科医会主催の中央審査会に推薦いたしました。次にすぐれた作品4点(幼稚園1点、小学校低学年1点、小学校高学年1点、中学校1点)を大阪市学校歯科医会会長賞とし選出しました。また、今回も各協賛企業よりお口の専門店賞2点(株式会社P&A)、モリタ賞2点(株式会社モリタ)、読売新聞社賞2点(読売新聞社)を選出いたしました。

『日本学校歯科医会への推薦作品』

幼稚園代表	菅南幼稚園 5歳	堀	紗寧
小学校低学年代表	天王寺小学校 1年	宮本	夏希
小学校高学年代表	聖和小学校 6年	池田	慎太郎
中学校代表	築港中学校 3年	岡沢	歩武

●標語

応募総数122点(小学校73点、中学校49点)のうち最もすぐれた作品1点を大阪市代表とし公益社団法人日本歯科医師会の中央審査会に推薦しました。また入賞作品2点、お口の専門店賞1点(株式会社P&A)、モリタ賞1点(株式会社モリタ)、読売新聞社賞1点(読売新聞社)を選出しました。

『日本歯科医師会への推薦作品』

「歯みがきは 元気な体の 第一歩」 関目東小学校 6年 山口 遙翔

代表作品の図画・ポスター、標語は大阪市学校歯科医会ホームページで紹介するとともに入賞作品を含めて下記の要項で展示しました。

場	所	大阪市立中央図書館(西区)
期	間	令和5年11月3日(金)～15日(水)

常務理事 弘田 和彦



日本学校歯科医会への推薦作品



【幼稚園代表】
菅南幼稚園 5歳
堀 紗寧



【小学校低学年
(1~3年)代表】
天王寺小学校 1年
宮本 夏希



【小学校高学年
(4~6年)代表】
聖和小学校 6年
池田 慎太郎



【中学校代表】
築港中学校 3年
岡沢 歩武

大阪市学校歯科医会 会長賞



菅南幼稚園 5歳
下釜 光葉



金塚小学校 1年
田中 宏季

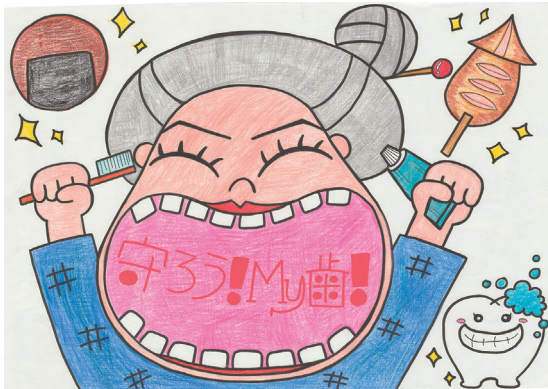


神津小学校5年
木内 優那



玉津中学校3年
大村 菜夏

株式会社P&A お口の専門店賞



大池小学校5年 清水 星空

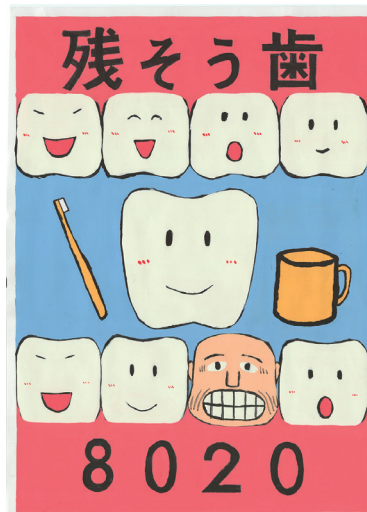


東三国小学校6年 市川 蓮乃

株式会社モリタ モリタ賞



天王寺小学校6年 櫻井 彩葉



都島中学校3年 野間 孝幸

読売新聞社賞



金塚小学校5年 小泉 美月



築港中学校3年 赤野 央芽

標語受賞作品

歯みがきは
元気な体の
第一歩

【大阪市代表作品】
関目東小学校 6年
山口 遥翔

きれいな歯
未来の私に
おくろうよ

【入選作品】
関目東小学校 6年
今井 実莉

マスクなし
白い歯見せて
顔合わせ

【入選作品】
野田中学校 3年
蓮林 柚季

おいしいね
食の源
元気な歯

【株式会社P&A お口の専門店賞】
文の里中学校 1年
金剛 遙希

おねきゅんは
きらりと光る
その歯から

【株式会社モリタ モリタ賞】
弁天小学校 6年
増井 一花

歯みがきは
誰にでもできる
積み重ね

【読売新聞社 読売新聞社賞】
梅花中学校 2年
栢木 凧

令和5年度「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」 「歯・口の健康啓発標語コンクール」表彰式

令和5年12月17日(日)午前10時30分より、読売新聞大阪本社「ギャラリーよみうり」の会場にて執り行いました。前日の雨も上がり晴れた朝を迎え15名の表彰式参加者と協賛企業の方々をお招きして開催できました。

大阪市学校歯科医会 讃井茂行専務理事の司会により定刻通り始まりました。



大阪市学校歯科医会 西本達哉会長の挨拶では、今年度もこの会場をお借りして表彰式が行われることに対し、読売新聞社、協賛社へ感謝の言葉を述べました。そして、昨年この表彰式の様子が読売新聞大阪版で紹介されたことを報告され、「今年も私の手作りの作品を掲載した表彰状を受賞者の皆様に渡すことができ嬉しく思う」と話しました。



読売新聞社の戸田博子氏の挨拶では、口腔保健に関する理解と認識を高めることを目的するこのコンクールの理念に賛同し3年前より広報協力をしており、素晴らしい作品に出会うことができ感動したと述べられました。そして、受賞者の皆さんの作品は、制作するにあたり、歯・口のことに関してご両親に聞いたり、自分で調べられたと思います。この知ろうとする探求心が素晴らしい作品となり現れています。そして、「知る」ことは、皆さんにとって今後の人生の大きな力になると話されました。

歯と口の健康に関する図画・ポスターの部

大阪市代表並びに大阪市学校歯科医会会長賞は、西本会長から賞状と副賞が授与なされました。また、各協賛企業からもプレゼンターの方より同様に授与がなされました。



22 大阪市代表



大阪市学校歯科医会会長賞



P&Aお口の専門店賞



モリタ賞



読売新聞社賞

歯・口の健康啓発標語の部

大阪市代表は、西本会長より表彰状と副賞が授与なされました。また、P&Aお口の専門店賞、モリタ賞、読売新聞社賞は、各プレゼンターより賞状と副賞が授与なされました。



表彰式の後、当会の弘田和彦常務理事より大阪市学校歯科医会の活動内容とホームページについて紹介しました。

読売新聞社の鬼木氏からは、こども新聞を用いて新聞の見方やこども新聞の特徴について解説されました。そして最後に受賞者の方と協賛企業の方も参加いただき記念撮影を行い、式は暖かな雰囲気の中滞りなく終了しました。

常務理事 弘田 和彦



令和5年度 社会見学会

日 時 令和5年9月16日(土) 午後3時～午後5時
場 所 山本能楽堂
懇 親 会 湖陽樹 午後6時～

今年度の社会見学会は、狂言の会を開催致しました。40名の先生方の出席を頂きまして皆様には存分に狂言を楽しんで頂き大盛況となりました。

今から6年前になりますが、その時の社会見学会も同じ山本能楽堂で能の見学会を開催させて頂きました。

日本の伝統芸能である能と狂言は、平安時代末期から日本各地で起こった猿楽が起源となっています。

このような日本の伝統芸能や文化に触れることは、私たち学校歯科医としても重要だと考えその見識や知識を深めていただけるような場を提供したいという思いで今回の開催とさせて頂きました。

見学会のはじめには狂言師の小笠原由禰氏より能楽の歴史についての解説があり狂言とはどういうものか、そして能楽堂のしくみについてお話がありました。能・狂言の舞台はもともと屋外に作られており、現在のように舞台と観客席が一つの建物の中に入った「能楽堂」という形になったのは明治以降のことであるなど知ることができました。

そのあと、狂言の演目が二つ袴狂言「盆山」、狂言「清水」を実演して頂きました。

参加者の中には狂言を鑑賞するのは初めてという先生方が半数以上おられ、興味津々に見入っておられました。そして皆様から「大きな感銘をうけた。」「初めての経験、勉強になりました。」「大変心が豊かになる笑いでした。」「素晴らしい社会見学会でした。」などの



数多くの感想をいただきました。

今回の社会見学会は、狂言の鑑賞という大阪市学校歯科医会にふさわしい高尚な趣になったのではないかと考えております。狂言師の小笠原由禰氏は、世界無形遺産である能楽の普及と継承さらには大阪の文化振興につとめられています。先生方におかれましても今後とも能楽に興味を持っていただき日本伝統芸能の普及にご協力を頂ければ幸いです。

常務理事 柳田和彦



社会見学会に参加して

東住吉区 増井 裕

令和5年9月16日、市学歯の社会見学会・懇親会が山本能楽堂にて開催されました。予定は「狂言」のレクチャー・体験・公演です。当日は残暑(特にこの三日間は湿度が高く気温は36度を超える毎日)が厳しき中、総勢40余名の先生方が参加されました。6年前にも企画されており小生も参加していたにもかかわらず

ず景色は記憶にあれど上演内容はまったく記憶に非ず(すいません)。能楽堂の中はクーラーが程よく効いていて昼寝にはうって付け、ダメ・ダメ・ダメと睡魔との必死で戦う中、狂言の解説が狂言師の小笠原 由禰氏より始められました。狂言は650年前、室町時代に形が出来、現存する世界最古の芝居であり途切れることなく続いているのは能・狂言のみだとか。ユネスコ無形文化遺産にも登録されており、能の歌舞を中心とした優美な象徴劇と違い狂言は人間の姿を描く喜劇であること、台詞中心であり大きな特徴は「笑」そこに描かれているのは現代に至るまで変わらない普遍的な人間の姿である事、自分の頭の中で想像して楽しむものである事や当時は武士の嗜みであった事などわかりやすく教えて頂きました。この後、袴狂言「盆山」が演じられました。休憩の後、笑いの発声の仕方を体験、その後、狂言「清水」が上演されました。レクチャーのお陰でよく内容がわかり楽しく鑑賞させて頂きました。大掛かりな舞台装置やマイクも無い中、言葉や仕草だけで二人の演者の腹の底から発声される台詞はすごい迫力でとても素晴らしかったです。日本が世界に誇る伝統芸能を是非とも御自分の目・耳で確かめられる事をお勧め致します。敢えて自分自身からは鑑賞する事は全く無かったであろうこの機会を与えて下さった市学歯の先生方に深く感謝致します。2時間の公演の後、場所を移して懇親会となりました。この社会見学会でしか会わない旧知の先生方、全く初対面の先生方と和気あいあいと談笑、美味しい料理と飲み放題のお酒が進み2時間はあっという間に過ぎ去り、無事お開きとなりました。最後にこの暑い中で道案内に立たれておられた市学歯役員の先生方や執行部の先生がたの御苦労に深く感謝致します。有難うございました。

西成区 川井 典子

初めて狂言の生舞台を拝見しました。

テレビでは見た事がありますが、それとは全

く違うもの テレビは単なるカタログで音響機械を使ってではなく 空気を震わして体の底から響く声、長年の鍛錬より洗練され心地よく耳に身体に届きます。

舞台から鳴る足音も衣擦れの音も本当に心地よい 生の舞台に優るものはなし。

さて内容は コントでした。人間面白いと思うツボは、昔も今あまり変わらず たわいの無い 落ち着く面白さでした。

また次回の興味深い企画を楽しみにしております。

都島区 澤井 宏之

令和5年9月16日土曜お昼1時までには診療を終え、京阪京橋内で昼ご飯を食べ、京阪電車で天満橋へ

昨年小生お初の中之島美術館連れていただいた年に一度のお楽しみ「市学歯社会見学会」今年も小生にはお初の「山本能楽堂」での狂言の鑑賞会!ということで、私の中学時代の通学路近くを半端ないワクワク満載でてくてく楽しみに向かいました。

私中1まで東区(現中央区)法円坂住みで、小学校通学路近くに「大槻能楽堂」があり、幼少の頃、その木造建築をお風呂屋さんと勘違いしていたのを覚えています。

そんなご近所さんの能楽堂には、小学校だったか?中学校だったか?の定かではないが、社会勉強会で行ったきりでご縁無く、しかし漠然となんとなく?「能」は退屈で難解も「狂言」は面白かったという記憶…こんな私も所属都島区支部に大学の後輩で元落研日本一の歯科医囃家・澤田名人先生の影響で落語好きになり繁昌亭にはよく通ってまして、今回狂言を大変わかりやすく興味深く観させていただきましたので、これをきっかけに「灯台下暗し」から脱却して、能楽堂へ足を運び古典芸能に触れて行きたいと思います。ありがとうございました!

公益社団法人日本学校歯科医会 第109回 臨時代議員会

日 時 令和5年月10月4日(水) 午後1時30分～
場 所 歯科医師会館 1階 大会議室
出 席 者 西本 達哉・長崎 三男



氏名点呼 理 事 鈴木あい子
1.開会の辞 副会長 齋藤 秀子
2.挨拶 会 長 柘植 紳平
3.来賓挨拶 日本歯科医師会 会 長 高橋 英登
日本歯科医師連盟 会 長 太田 謙司

4.黙 禱

5.仮議長の選出

6.議事録署名人指名

田西 亨(北海道)・平川 純教(鹿児島県)

7.議 事

第1号議案 代議員会議長・副議長の選出の件

第2号議案 予算決算特別委員会委員の選任の件

第3号議案 議事運営特別委員会委員の選任の件

第4号議案 名誉会長選任の件

川本強前会長が選任されました。

8.報 告

1)委員会報告

専務理事 長沼 善美

2)会務現況報告

常務理事 吉岡 弘二

3)会計現況報告

常務理事 竹内 純子

9.協 議

10.その他

第87回全国学校歯科保健研究大会について上田直克代議員(大阪府)、西本達哉代議員(大阪市)が参加を呼びかけた。

11.閉会の辞

副会長 山田 尚

令和5年度 第2回 支部長会

日 時	令和5年10月7日(土) 午後3時 ~ 午後4時30分
場 所	コミ協ひがしなり区民センター 集会室 601・602
司 会	専務理事 讃井 茂行
開会のことば	副会長 河野 好昭
会長あいさつ	会 長 西本 達哉
会 務 報 告	専務理事 讃井 茂行
支部長紹介・役員紹介	



報告事項

1. 令和5年度定時総会	専務理事 讃井 茂行
2. 日本学校歯科医会 第108回定時代議員会	会 長 西本 達哉
3. 学術部会報告	常務理事 長谷川 貴一
4. 大阪市学校保健会総会	常務理事 吉松 昌之
5. 第47回近畿北陸地区学校歯科医会(学校歯科部)連絡協議会	副会長 川上 力
6. 「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」並びに 「歯と口の健康啓発標語コンクール」	常務理事 弘田 和彦
7. 第62回全日本学校歯科保健優良校表彰 結果報告	監 事 西川 肇
8. 社会見学会	常務理事 天上 吉隆
9. 第87回全国学校歯科保健研究大会	専務理事 讃井 茂行
10. 4年生の保健指導について	常務理事 吉松 昌之
11. 6年生の保健指導について	会 長 西本 達哉
12. その他	
市学歯、市教委、阪大、ロッテの4団体協定の事業について	常務理事 吉松 昌之

質 疑 応 答

- Q. 6年生の保健指導で小学校担当校医に依頼するにあたり、最低限の内容と資料を市学歯から提供いただけるのか。
- A. 小学校の方には、教育委員会から「歯・口の健康教室」に使う資料がある。必ずしもそれに沿った内容でなくてもよい。学校側と連絡をとり、どのように行うか相談してほしい。
- Q. 全国学校歯科保健研究大会の登録についてスマホで上手くできなかった。今から登録できるか。
- A. ホームページからの登録は期限が過ぎている。市学歯事務局にメールアドレスと生涯研修カードの6桁の番号を知らせてもらえれば団体登録用からできる。本日準備委員会で確認する。

閉会のことば	副会長 上田 裕彦
--------	-----------

第87回 全国学校歯科保健研究大会(大阪府)



第87回の全国大会は22年振りの大阪開催であった。前回大会の山梨で、「学校歯科の鐘」が大阪に引き継がれ主催者である府歯と府学歯と共にJTBを交えた準備委員会で協議に協議を重ねた結果、全国大会を成功裏に開催できたことはとても喜ばしいことであった。

- 主 催** 文部科学省／公益社団法人日本学校歯科医会／公益財団法人日本学校保健会
／大阪府／大阪府教育委員会／大阪市／大阪市教育委員会／堺市／堺市教育
委員会／大阪府学校歯科連合会〔一般社団法人大阪府歯科医師会・一般社
団法人大阪府学校歯科医会・一般社団法人大阪市学校歯科医会〕
- 期 日** 令和5年10月19日(木)
- 会 場** 大阪国際交流センター
- 形 式** 会場とオンラインのハイブリッドで開催
領域別研究協議会はオンデマンド配信
会期終了後アーカイブ閲覧
- 主 題** 『口腔から全身の健康づくりを目指して』
「いただきます 人生100年 歯と共に」*
～つなぐ、子どもたちの未来へ～
*2021年度 歯・口の健康啓発標語コンクール最優秀賞作品
(大阪市立茨田中学校3年生 藤原ひよりさんの作品)

日 程

アトラクション・特別講演・シンポジウム ハイブリッド開催(ライブ配信11:30~)

アトラクション 11:30~12:00 大阪府立久米田高校ダンス部、太鼓部



開会式・表彰式 12:00~13:00

特別講演 13:15~14:15

演 題 「江戸時代の医師修行」

講 師 2022年「百万石の留守居役シリーズ」で第7回吉川英治文庫賞受賞

作家・歯科医師 上田 秀人氏



シンポジウム 14:30~16:30 「ICTを活用した学校歯科保健」

座 長 公益社団法人日本学校歯科医会 副会長 齋藤 秀子

基調講演 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 健康教育調査官 松崎 美枝

シンポジスト 公益財団法人日本学校保健会 専務理事 弓倉 整

可児市立土田小学校 養護教諭 大橋 あげ葉

一般社団法人宮城県歯科医師会学校歯科部会 副部会長 佐藤 晶

領域別研究協議会 オンデマンド配信

●幼稚園・認定こども園・保育所部会

座 長 公益社団法人日本学校歯科医会 常務理事 竹内 純子

発表者① 大阪市立幼稚園教育研究会 保健研究部長(大阪府) 山中 理恵子

保健研究部副部長(大阪府) 下村 智美

発表者② 大阪市立東中本幼稚園 養護助教諭(大阪府) 岡部 千昭

アドバイザー 神奈川歯科大学 歯学部 小児歯科学講座教授 木本 茂成

●小学校部会

座長	公益社団法人日本学校歯科医会 常務理事	澤田 章司
発表者①	堺市立東浅香山小学校 養護教諭(大阪府)	東野 友香
発表者②	鹿児島市立山下小学校 養護教諭(鹿児島県)	谷口 由美
アドバイザー	鶴見大学 歯学部 小児歯科学講座 教授	朝田 芳信

●中学校部会

座長	公益社団法人日本学校歯科医会 常務理事	佐々木 貴浩
発表者①	大阪市立淀川中学校 指導養護教諭(大阪府)	永安 真由美
発表者②	気仙沼市立唐桑中学校 養護教諭(宮城県)	日出 海香
アドバイザー	日本大学 歯学部 衛生学講座 教授	川戸 貴行

●高等学校部会

座長	公益社団法人日本学校歯科医会 理事	阿左美 葉子
発表者①	大阪府立東高等学校指導養護教諭(大阪府)	幡中 理恵
発表者②	群馬県立高崎商業高等学校 養護教諭(群馬県)	星野 よし美
アドバイザー	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 健康推進歯学分野教授	相田 潤

●特別支援教育部会

座長	公益社団法人日本学校歯科医会 常務理事	今井 健二
発表者①	大阪府立とりかい高等支援学校 教諭(大阪府)	橋本 進吾
発表者②	奈良県立二階堂養護学校 養護教諭(奈良県)	前川 小百合
アドバイザー	昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門 教授	弘中 祥司

特別講演

『江戸時代の医師修行』について

理事 杉田 やよい

〔古代〕

日本の医療のはじまりは呪いであった。病や怪我を悪いものの影響だと考えた古代人は神に祈り、呪師に頼った。その呪師が経験を重ね、効果のある薬草を発見し原始的な医術が発生した。

〔江戸初期〕

江戸初期は戦国時代の名残で【全創医】いわゆる刀で切られた人を治す、外科医的な医者が多かった。

医療が普遍化するのには、元禄時代からである。そのころの平均寿命は三十五歳。乳幼児の死亡が多く、七歳を越えれば男性は長寿できたが女性は出産時の死亡が多く短命であった。

〔医者になるためには〕

医者は徒弟奉公により、ほとんどが名医と呼ばれる医者のもとに弟子入りして勉強をつんで独立していく。しかしながら、こうして医者

になった者たちの技量、知見に大きな差があった。弟子入りというやり方は技術の門外不出とされている限り、技能は限定され、医者の方量の差を生み出した。

江戸時代にも医療の技能の差が出ないように、彦根藩、熊本藩などは藩内に医学寮を設置し、医者を育てようとした。

幕末になると藩医は世襲制となり八歳から藩校で学び、医学寮などで専門的な教育を受け吟味に通らないと家を継げなかった。

一般人は六歳の頃からの寺子屋で手習いしここで優秀として師匠から推薦を受けると藩都や大きな宿場町や城下町の医師へ入門し、徒弟奉公を始めた。十年ほど徒弟奉公を務めたのち、そこから認められたものが三都（江戸、大坂、京都）や長崎などに遊学した。

〔とある医師の京都遊学〕

ある医師は徒弟奉公した後に福井藩で開業医をして遊学修行のためのお金を貯め、三十五歳の時に一年くらいの予定で十三両を持って京都に赴いた。（一両は諸説あるが上田氏によると現在の三十万円くらい）色々評判を聞いて師事する先生を決めた。入門費、先生への御礼に一両。最初の宿は一か月七千五百文かった。

一両が六千文なので物入りで教科書さえ買えない。どんどん安い宿を探して一か月四千五百文の所にかわった。それでも苦しいので宿主と交渉し、食事を質素にして自分で布団を敷き一か月三千文に落ち着いた。それだけ努力してもお金が足りず親戚にも借金して納得いくまで遊学するのが江戸時代の医師修行であった。

シンポジウムについて

理事 岡添 晋一

シンポジウムのテーマは「ICTを活用した学校歯科保健」であった。まず文部科学省の松崎美枝氏により、学校保健におけるICT活用の推進について基調講演が行われた。そこではGIGAスクール構想を基盤とした令和の日本型学校教育においてICTは必要不可欠であり、それを学校保健の充実に活かしていく事の重要性が示された。また養護教諭によるICTの活用方策についての具体的な事例が詳細な資料と共に示された。そしてICT活用の目的は養護教諭の役割と専門性を発揮することであり、それにはICTをどのように活用するのかという観点が必要であるとの事であった。

シンポジスト1.弓倉 整先生は、医療情報の電子化という観点からの学校保健について、主に学校健康診断のデジタル化とPHRの話がされた。最新の情報を詳細なデータと共に歯科医療との関連性も含めながら話された。

シンポジスト2.大橋 あげ葉先生は、赴任先の小学校において伝統ある歯科保健活動がコロナのために中止延期される危機を、タブレットを活用した授業を行うことによって乗り越えた事例を詳細な資料を提示しながら発表された。またそこで見つかった改善点を踏まえながら、アナログとICTを使い分ける事で効果的な指導を実現させていきたいという事と、より主体的に・より対話的に・より深い学びへ繋がるように歯と口を通した健康づくりを今後も研究したいと述べられた。

シンポジスト3.佐藤晶先生は学校歯科医からみた学校歯科保健におけるICTの活用について話された。体の入り口である歯と口の健康は全身の健康や心の健康の保持増進につながるという考えのもと学校歯科保健に取り組んできた事や、またそのためにはICTの活用が有効である事的具体例を挙げながら話された。さらに東日本大震災経験者として「生きる力」「生き抜く力」を育む歯・口の健康づくりのため、今後もICTの活用を充実させ児童生徒の健康増進に寄与していきたいと考えていると述べられた。

座長の齋藤秀子副会長は、ICTを活用した学校歯科保健について、それぞれのシンポジストと協議され、日本学校歯科医会としても今日のデータを大切にして学校歯科医の先生方に発信できる環境を整えていきたいと述べられた。

【学校歯科の鐘】引継ぎ

柘植紳平会長から次期開催地の長崎県に「学校歯科の鐘」が渡され引継ぎ式が行われた。そして、長崎の紹介映像がスクリーンに映し出され、長崎県歯科医師会 渋谷昌史会長が挨拶された。



当会より2題のポスター「学校歯科医の年間活動報告について」と「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール、歯・口の健康啓発標語コンクールの新たな取り組みについて」を発表した。また、展示した戦前の学校歯科保健活動に使われた掛け軸の前では、興味津々に見ている方もおられた。



【ポスター発表・戦前の学校歯科保健活動に使われた掛け軸】展示

閉会式では、西本会長が大会に係られたすべての方々や来場者に感謝の言葉を述べられた。また、今大会の副題「いただきます 人生100年 歯と共に」の制作者である藤原ひよりさんを紹介された。



第73回 全国学校歯科医協議会(兵庫県)

日 時 令和5年10月26日(木) 午後3時～午後6時10分

場 所 兵庫県歯科医師会館

出席者 西本 達哉・川上 力・讚井 茂行・弘田 和彦・美島 達平

1. 開 会

2. 挨拶

兵庫県歯科医師会 会 長 橋本 芳紀

日本学校歯科医会 会 長 柘植 紳平

3. 祝 辞

文部科学大臣 盛山 正仁

日本学校保健会 会 長 松本 吉郎

4. 前回開催県報告

岩手県歯科医師会 会 長 佐藤 保

5. 次回開催県挨拶

宮崎県歯科医師会 会 長 上窪 高志

6. シンポジウム 「ヤングケアラーについて理解を深めるシンポジウム」

基調講演「ヤングケアラーの現状と学校・歯科医療ができること」

大阪公立大学現代システム科学研究科 准教授 濱島 淑恵

パネルディスカッション

〈パネリスト〉

大阪公立大学現代システム科学研究科 准教授 濱島 淑恵

日本学校歯科医会 会 長 柘植 紳平

兵庫県立明石高等学校 校 長 北中 睦雄

特定非営利活動法人ふうせんの会 山中 葉月

〈コーディネーター〉

兵庫県歯科医師会 会 長 橋本 芳紀

7. 閉会

講演内容

専務理事 讚井 茂行

ヤングケアラーとはケアを担う子ども・若者のことである。介護の必要な祖父母や、身体障がい・依存症・精神疾患の親や、発達・知的障がいのきょうだいや幼いきょうだいがケアの相手になる。ケアの内容は家事、見守り、話し相手などの日常的なものから、介助、感情的サポートなど幅広い。ケアとみなされなかつたり大したことないように思われがちのことがある。お手伝いとの違いは自分がしないとといけない責任があるかどうかである。ケアの頻度はほぼ毎日しているケースが約半数で短時間のケアが多いが、長時間のケアを担っていたら把握して支援が必要である。現在は負担が大きくなくても変化があるので早い段階からの見守りが必要である。ヤングケアラーが抱える問題は遅刻・欠席・居眠り・成績不振などの学校生活への影響や精神的・身体的な健康への影響、友人関係への影響がある。歯科との接点は歯科医院への付き添いや家族の口腔ケアを担っていたり、本人の口腔内の状態が思わしくないことがあるので気づくことが必要である。ヤングケアラーの支援はまず正しく知って理解することで、親のしんどさも理解して批判しないことも重要である。必ずいるという視点で声をかけて具体的に聞いてみて、家族への支援は医療・福祉サービスにつなげ、本人には居場所を作ってケアから離れられる時間を作ることが重要である。学校と医療と福祉が連携してサポートしていくことが課題である。



令和5年度全国学校保健・安全研究大会(兵庫県)

主 題 生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進
～自ら健康課題の解決に取り組み、未来を切り拓く子供の育成～

期 日 令和5年10月26日(木)・27日(金)

会 場 兵庫県神戸市 神戸文化ホール 神戸市立中央体育館

開 催 方 法 参集開催及びオンデマンド配信

出 席 者 西本 達哉・川上 力・讃井 茂行
弘田 和彦・美島 達平

日 程

1日目/10月26日(木) 全体会

1.開会式・表彰式(13:00~14:00)

(1)開会のことば

(2)国歌斉唱

(3)あいさつ



文部科学大臣 盛山 正仁(代理)

公益財団法人日本学校保健会 会 長 松本 吉郎

兵庫県教育委員会 教育長 藤原 俊平

兵庫県知事

(4)祝辞

(5)歓迎のことば

神戸市長

(6)来賓紹介、主催者紹介

(7)表彰式

ア.受賞者紹介

イ.表彰状授与

「学校保健の部」

代表：兵庫県 内海 清史(学校薬剤師)

「学校安全の部」

代表：高知県 土佐市立蓮池小学校

「学校安全ボランティア活動の部」

代表：兵庫県 渦が森小学校渦っ子見守隊

ウ.謝辞

代表：兵庫県 内海 清史

(8)閉会のことば

2.記念講演(14:50~16:20)

演 題 「ネット・ゲーム依存の成り立ちと対応」

講 師 神戸大学大学院 医学研究科 デジタル精神医学部門 特命教授 曾我 一郎

表彰式において、大阪市立豊崎中学校の学校歯科医 美島達平先生が長年ご活躍され、学校保健・安全の功労者に対する令和5年度文部科学大臣表彰を受賞されました。

記念講演

「ネット・ゲーム依存の成り立ちと対応」

常務理事 弘田 和彦

インターネットが商用化され持ち運べるコンピューターであるスマートフォンが登場し、私たちの生活は便利になった。学校においては、文部科学省の取り組みであるGIGAスクール構想により一人1台のタブレット端末を使用し、児童、生徒の教育環境のデジタル化が大きく進展した。一方、オンラインゲームやソーシャルネットワーキングサービス(SNS)が、社会生活の一部になり長時間使用することで問題行動など弊害も起こっている。

依存症の成り立ちは、薬物や行動の長期間にわたる反復する快感刺激により、報酬系ドーパミン神経回路が変化し、さらに報酬系に続く前頭前野皮質などの神経回路が変化することで完結すると考えられている。つまり、ネット・ゲーム依存症はネット・ゲームの行動嗜好が自らコントロールできなくなり、やっていないときも常にしたい思いが続くことである。

現在、ネット・ゲーム依存の有病率は、男性3%女性1%だが、危険な使用者(ネット・ゲーム依存の予備軍)はその5~10倍と推測されている。男性の有病率が女性のそれより高いのは、男性の場合嗜癖性が強いゲーム(シューティングゲーム・ロールプレイングゲーム)を好んで使用し、女性は、嗜癖性が弱いSNSを中心としたネットを使用していることが反映されている。

青少年では、ネット・ゲームのやりすぎで、学校の勉強がついていけなくなったり、引きこもり、不登校によりネット・ゲームしかやらなくなったり、悪循環に陥り依存が深刻化する場合が少なくない。重症例のケースでは、ネット・ゲームを制限・禁止したり、取り上げたりすることで家族への暴力や盗みなどの問題行動を伴っていることが多い。また、思春期では発達障害、特に不注意型の注意欠陥多動性障害(ADHD)をともなっているケースが多く、青年期以降では気分障害や不安障害を併存することが多いのも特徴である。その他、睡眠障害や摂食障害のリスクやデジタル眼精疲労のリスク要因など身体に与える影響についてエビデンスの検証が待たれるところである。

ネット・ゲーム依存症には特効薬はなく、対応の基本方針は、ほかの物事に興味を持ちネット・ゲーム使用時間を減らすこと、学校や仕事で上手くいかず逃避している場合は、現実に向かう心のゆとりを持てるまで寄り添うことが求められる。

ネット・ゲーム依存は、最近になって疾患概念が定まり診断基準が認定されたところであるため、専門診療を実施している医療機関は少ない。今後、ネット・ゲームの使用による健康被害が生じるとの認識が普及するには、一定の時間がかかる。教育現場、行政機関が対応に苦慮している現状は、今後も深刻化するため、教育界、行政、医学界の緊密な連携が求められると締め括られた。

2日目/10月27日(金)9:30~ 課題別研究協議会

- | | | | |
|------|----------------|------|----------|
| 第1課題 | 学校経営と保健組織活動 | 第2課題 | 保健管理 |
| 第3課題 | 心の健康 | 第4課題 | 現代的健康課題 |
| 第5課題 | 歯・口の健康づくり | 第6課題 | 学校環境衛生 |
| 第7課題 | 喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育 | 第8課題 | 学校事故防止教育 |

第5課題 歯・口の健康づくり 講義

「生きる力」を育む歯と口の健康づくり

児童生徒の発達段階と学力の三要素を踏まえて

明海大学 名誉教授 安井 利一

学齢期の学校保健は、他律的健康づくりから自律的健康づくりへの移行期にあたり、自己健康管理の育成に極めて重要な時期である。

21世紀での学校における歯・口の健康づくりの諸活動は、病気にかかった後の治療を中心とした「病気・治療への志向」から豊かさや活力の創造を目指した「健康文化への志向」に貢献できることが必要とされる。そしてそのためにも、歯・口の健康づくりの諸活動を推進し、自律的に健康問題を解決し、行動できる子どもの育成を図らなければならない。また「歯と口の健康づくり」を参考に発達段階に沿った学習を提供する必要と、学校歯科保健が学校における教育活動の一環として実施される以上「学力の三要素」に照らし合わせて①歯・口に関する知識と健康な歯・口を維持向上させる技能、②歯の汚れや歯肉の炎症状態を観察、評価する判断力と表現力そして解決する思考力、③生活習慣の改善など生涯にわたり主体的に歯・口の健康状態を維持向上するための学びに向かう力・人間性等を満たした取り組みを展開する必要がある。

このことから学校での歯科保健活動は、従来のむし歯や歯周病を予防し、疾病の早期発見による治療の勧告にとどまらず、保健教育を通して子どもの豊かで健康な歯・口の働きの発達を支援する視点で歯・口の健康づくりを考える必要がある。

指導助言

「生涯にわたる健康管理の基礎となる歯・口の健康づくりの進め方」

各学校における歯・口の健康づくりの一層の推進にむけて

品川区教育委員会事務局 教育総合支援センター 特別支援教育担当課長 唐澤 好彦

研究指導

歯科健康診断の効果的な実施と結果等を活動した健康教育の実施について

生徒主体の活動を通して健康管理への意識向上を図る

大阪府立なにわ高等支援学校 保健主事 寺井 基起

研究発表

「自らの健康に気付き、考え、実践できる児童生徒の育成」

9年間を見通した食と歯・口の健康づくりの実践を通して

茨城県東茨城郡大洗町立南中学校 養護教諭 追田 祐子

命の入り口「歯と口」の健康を通して豊かな心とたくましい体を育む

学校・家庭・地域との連携を通して

兵庫県姫路市立御国野小学校 養護教諭 黒田 真未

令和5年度 大阪二学歯連絡協議会

今年度は大阪市都島区にある、歴史的建造物ザ・ガーデンオリエンタル・大阪(旧大阪市公館)にて開催しました。

来賓として、大阪府歯科医師会より深田拓司会長、後藤修一郎理事にご臨席を賜りました。府学歯上田直克会長、市学歯西本達哉会長の挨拶では、第87回全国学校歯科保健研究大会が滞りなく終わり感謝の言葉を述べられました。そして、深田拓司会長からも「三団体の力の結集が素晴らしい結果をもたらした。今後もこの絆を大切に協力していきたい」とお言葉をいただきました。また、歯科界の現状にも触れ、未来ある子どもたちのため学校歯科医会の果たす役割は、益々重要である考えを述べられました。

日時 令和5年11月25日(土) 午後5時～
場所 THE GARDEN ORIENTAL OSAKA

日程
司会 大阪府学校歯科医会 常務理事 奥田 宗義
開会の辞 大阪府学校歯科医会 副会長 吉川 伸
会長挨拶 大阪府学校歯科医会 会長 上田 直克
大阪市学校歯科医会 会長 西本 達哉
来賓挨拶 大阪府歯科医師会 会長 深田 拓司
出席者紹介 大阪府歯科医師会 会長 深田 拓司
大阪府歯科医師会 理事 後藤修一郎



大阪府学校歯科医会

会長 上田 直克	副会長 吉川 伸	副会長 水谷 成彦
副会長 金本 均	専務理事 藤戸 寛	常務理事 奥田 宗義
常務理事 荒木 雅夫	常務理事 川口 護	常務理事 山崎 敏彦
常務理事 白井 敏彦	常務理事 村田 肇	事務局 清水 香陽

大阪市学校歯科医会

会長 西本 達哉	副会長 上田 裕彦	副会長 川上 力
専務理事 讃井 茂行	常務理事 天上 吉隆	常務理事 長谷川 貴一
常務理事 弘田 和彦	常務理事 柳田 和彦	理事 梅本 匡
理事 辻本 照人	事務局 伊牟田 裕加	

日本学校歯科医会からの報告

協議・意見・	令和5年度 第87回全国学校歯科保健研究大会の検証	日学歯 常務理事 水谷 成彦
情報交換事項	最終準備委員会と第二回実行委員会の開催について	吉川 伸
	大阪府学校歯科医会からの提出の情報交換	
	●令和5年度の歯科保健活動の実施状況について	川口 護
	●学校管理下における歯の外傷防止について	山崎 敏彦
	大阪市学校歯科医会からの提出の情報交換	
	●小学校養護教諭対象 第9回歯・口の健康づくり研修会	長谷川 貴一
	●第87回全国学校歯科保健研究大会の反省点	讃井 茂行

閉会の辞 大阪府学校歯科医会 副会長 金本 均
懇親会 会議終了後同場所にて開催しました。

令和5年度 大阪市学校歯科医会 会員研修会

日	時	令和5年12月2日(土) 午後3時~午後5時
場	所	大阪府歯科医師会館 大ホール
講	師	東京都立大学名誉教授 放送大学客員教授 星 旦二先生
演	題	『なぜ、かかりつけ歯科医師がいると長生きなのか』
講	演	内 容

●健康長寿を決める要因

かかりつけ歯科医師だけを持つ人とかかりつけ医師だけを持つ人では、かかりつけ歯科医師だけを持つ人のほうが長生きである。かかりつけ歯科医師だけを持つ人は、収入と学歴が高く、生活習慣がしっかりしていて前向きに生きている。病気がもともと少なく、内科の主治医を持っていないが、口腔ケアの大事さを理解している傾向が強い。また、健康寿命は住宅環境にも大きく左右される。冬季の死亡増加率は、比較的温暖な栃木県で高く、寒冷的な北海道では低い。断熱をしっかりすることが重要である。また、高齢者1.3万人の3年間の追跡調査では身長が低くBMIの低いやせ型が最も死亡しやすいことがデータに出ている。成長ホルモンの出る小学校高学年から中学校にかけて十分な栄養、親からの愛情が少なかったことが原因として考えられる。住宅の最大意義は、子供の成長が継承されることである。

●子どもたちの生活習慣

子どもの好ましい生活習慣を規定するには家族の願い、子どもの夢、健康志向行動が必要である。将来の目標が明確な子どもは飲酒・喫煙に手を出さない。そのために子どもの「夢」を支援することが大切である。また、夢を支援する家族力も必要である。家族の食育、ともに運動し親も楽しむ家庭が子どもたちの生活習慣形成に大きく役立っている。



成人に対する生活習慣を好ましいものに変える行動変容を促し、その後の健康度と生存効果を追跡した大規模追跡調査では、行動変容群の総死亡率が対照群よりも統計学的に有意に増加していた。つまり、成人後に行動変容しても長寿になれるわけではなく、子どものころからの好ましい生活習慣が必要である。

●健康長寿のための口腔ケア

クリニック受診者2,800名に東京都港区歯科医師会と協働調査を行ったところ定期的なメンテナンス群が望ましい口腔環境であることがわかった。予防重視で歯科受診している人のほうがプラークが少なく、口腔清掃ができている。さらに歯間ブラシを使用しており歯肉状況が好ましいほど主観的健康観(自分は健康だと認識している)が高いということが統計上有意な傾向であった。健康寿命を延ばすためには、口腔ケアが必要である。

●前向きな日々の暮らし

高血圧治療の有無には生存率の差は見ら



れない。動脈硬化の最大の原因は口腔疾患である。それは、口腔内の細菌が血管内に入り動脈壁に炎症が起こるためである。80~85歳の男性1,000人のうち、虚血性心疾患で死亡するのは年間わずか9人である。また、メタボリックシンドロームに関係する心筋梗塞は少なく、健康診断を受けた3.7万人の5年間の死亡を追跡すると、総コレステロール値が高くなるほど死亡率が低下している。高脂血症と高血圧症を有する高齢者での心血管疾患に対するプラバスタチン(高脂血症治療薬)の服用効果は認められず、弱い有意差ではあるものの服用群で全死亡率が高い傾向が認められた。3年後の生存と関連する各食生活と生活習慣について調べたデータでは、ほぼ毎日飲酒をする人が一番長生きであることがわかった。これらのことから、生活習慣は健康長寿の原因ではないということが言える。むしろ前向きな想いと夢を持つことが健康長寿の秘訣である。

感想

歯周病が糖尿病を悪化させることや、口腔内の清掃不良が誤嚥性肺炎や心疾患を引き起こすことは歯科医師にとっては自明であり、かかりつけ歯科を持つことが健康長寿につながることはもっともであるが、低身長や住宅環境も一つの要因であったり、好ましい生活習慣へ行動変容することが長寿につながるものではないということを今回の講演で知り、予測していなかったことなので驚いた。大人になってから、より良い生活習慣に行動変容しても健康長寿に寄与するものではなく、子どものうちからのより良い生活習慣の獲得が必要であるという点において、大変参考になった。子どもたちの健やかな健康・発育に関与する学校歯科医にとって大変興味深い講演であった。

理事 笹森 智絵

会 務 報 告

令和5年

7月13日(木)	第4回理事会(府歯 第6会議室)
7月13日(木)	第4回広報部会(府歯 第6会議室)
7月15日(土)	第67回全国学校歯科保健研究大会 準備委員会(府学歯 分室)
7月20日(木)	第3回管理部会(市学歯 分室)
7月20日(木)	第5回広報部会(市学歯 分室)
7月27日(木)	第45回近畿学校保健連絡協議会(奈良公園バスターミナルレクチャーホール)
8月5日(土)	第2回学術部会(コミ協ひがしなり区民センター)
8月5日(土)	学校歯科医生涯研修制度 専門研修(日歯会館)
~6日(日)	受講者:笹森智絵・杉田やよい・辻本照人・山崎徹也
8月17日(木)	第5回理事会(府歯 第6会議室) 理事会終了後歓送迎会(楓林閣ピアガーデン)
8月18日(金)	大阪市学校保健会 総会・講演会(大阪府医師会館) 講師:吉松昌之
8月19日(土)	第87回全国学校歯科保健研究大会 準備委員会(府学歯 分室)
8月24日(木)	第9回歯・口の健康づくり研修会(大阪市教育センター)
8月26日(土)	第47回近畿北陸地区学校歯科医会(学校歯科部)連絡協議会(ANAクラウンプラザホテル神戸)
9月7日(木)	「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」「歯・口の健康啓発標語コンクール」審査会(府歯 大ホール)
9月9日(土)	第87回全国学校歯科保健研究大会領域別研究協議会 収録(国際交流センター)
~10日(日)	
9月14日(木)	第6回理事会(府歯 第6会議室)
9月16日(土)	社会見学会「狂言」(山本能楽堂) 懇親会(湖陽樹)
10月7日(土)	第2回支部長会(コミ協ひがしなり区民センター)
10月12日(木)	第7回理事会(府歯 第6会議室)
10月14日(土)	第87回全国学校歯科保健研究大会 準備委員会(府学歯 分室)
10月18日(水)	第87回全国学校歯科保健研究大会 日学歯理事会(大阪国際交流センター) 会長招宴(THE LANDMARK SQUARE OSAKA)
10月19日(木)	第87回全国学校歯科保健研究大会(大阪国際交流センター)【ハイブリッド開催/オンデマンド配信】
10月26日(木)	第73回全国学校歯科医協議会(兵庫県歯科医師会館)
10月26日(木)	令和5年度全国学校保健・安全研究大会(神戸文化ホール/神戸市立中央体育館)
~27日(金)	【参集開催/オンデマンド配信】
11月2日(木)	「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」「歯・口の健康啓発標語コンクール」 作品搬入(大阪市立中央図書館)
11月3日(金)	「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」「歯・口の健康啓発標語コンクール」 ~15日(水) 展示(大阪市立中央図書館)
11月4日(土)	第3回学術部会(生野区民センター)
11月9日(木)	第8回理事会(府歯 第6会議室)
11月16日(木)	「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」「歯・口の健康啓発標語コンクール」 作品搬出(大阪市立中央図書館)
11月16日(木)	都島区学校保健会 講演会(都島区民センター)
11月25日(土)	令和5年度大阪二学歯連絡協議会(THE GARDEN ORIENTAL OSAKA)
12月2日(土)	会員研修会(府歯 大ホール) 講師:星 旦二先生
12月7日(木)	第9回理事会 忘年会(美濃吉心斎橋店)
12月14日(木)	令和5年度大阪市学校歯科保健連絡協議会(大阪市教育センター)
12月17日(日)	「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」「歯・口の健康啓発標語コンクール」 表彰式(読売新聞大阪本社「ギャラリーよみうり」)

会 務 報 告

12月21日(木) 第64回大阪市学校歯科保健研究大会 準備委員会 (府歯 第6会議室)

12月23日(土) 第87回全国学校歯科保健研究大会 準備委員会 (府学歯 分室)

令和6年

1月18日(木) 広報部会 (市学歯 分室)

1月25日(木) 第10回理事会 新年互礼会並びに受賞祝賀会 (ホテル日航大阪)

1月27日(土) 第4回学術部会 (生野区民センター)

2月1日(木) 広報部会(市学歯 分室)

2月1日(木) 日学歯予算決算特別委員会(日歯会館)

2月8日(木) 第11回理事会 (生野区民センター)

2月14日(水) 第64回大阪市学校歯科保健研究大会 前日準備 (府歯 大ホール)

2月14日(水) 日学歯加盟団体長会(日歯会館)

2月15日(木) 第64回大阪市学校歯科保健研究大会 (府歯 大ホール) 【参集開催/オンデマンド配信】

令和5年度 子どもの歯を守る懇談会

区	校名	実施日	対象・内容	学校園歯科医	講師
港	築港小学校	令和5年6月22日(木) 9時40分～11時25分	1年生(歯と口の健康教室)・むし歯予防/ブラッシング/あいうべ体操	金田一弘	讃井茂行
港	市岡東中学校	令和5年11月2日(木) 14時20分～15時10分	1年生・予防/ブラッシング/歯肉炎、歯周病/う蝕治療の必要性	田崎恵司	讃井茂行
住吉	東粉浜小学校	令和5年11月2日(木) 14時45分～15時30分	保健委員会・むし歯予防/ブラッシング	宮井茂人	梅山勇樹
西成	玉出中学校	令和5年11月29日(水) 13時30分～14時30分	保健委員会・歯肉炎、歯周病予防・ブラッシング/喫煙との関連	横山正	弘田和彦
都島	桜宮中学校	令和5年12月1日(金) 13時25分～14時15分	1年生(歯と口の健康づくり)・むし歯予防/ブラッシング/歯肉炎、歯周病予防/咬合と歯並び/食生活と食育	玉井秀人	弘田和彦
平野	長原小学校	令和5年12月6日(水) 14時45分～15時30分	保健委員会・口唇閉鎖力測定器りっぷるくんの実験(口呼吸→鼻呼吸に向けて)	吉原浩二	西本達哉 中川敦嗣
淀川	宮原小学校	令和6年1月25日(木) 9時40分～10時25分	6年生・歯肉炎/歯周病予防	高木博行	辻本照人

学校歯科保健教材器具貸出申込書

令和 年 月 日

校 園 名

学校歯科医名

1. 貸出器具に○と個数をご記入ください。

貸出有無	器 材 名	商 品 名	無償支給	個 数
	位相差顕微鏡	ペリオスコープ	—	貸出は1台のみ
		バクテリア・セルフチェッカー『見る菌』	—	貸出は1台のみ
	咬合力計	オクルーザルフォースメーター	—	貸出は1台のみ
		ディスプレイブルキャップ	20コ	個
	お口の万歩計	かみかみセンサー	—	Sサイズ 台
			—	Mサイズ 台
	顎模型	歯みがきじょーずくん	—	貸出は1台のみ
		歯みがき指導用模型	—	貸出は1台のみ
	歯みがき圧測定器	歯みがき圧指導器	—	貸出は1台のみ
	糖度計	ATAGO ペン糖度・濃度計 PEN-J PEN-1ST	—	貸出は2台
	pH計	ATAGO DIGITAL pH METER	—	貸出は1台のみ
	ガム	キシリトール咀嚼チェックガム	20コ	個
	りっぷるくん	□唇閉鎖力測定器	—	貸出は1台のみ
	りっぷるボタン		10コ	個
	健口くん	□腔機能測定器	—	貸出は1台のみ

2. 貸出希望日 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日 (返却)

※貸出期間は1週間をお願い致します。

3. 貸出・返却方法 ● 教材器具を貸出希望される学校は、事前に電話にて事務局に貸出状況をお問合せください。
そして、この用紙にご記入の上、市学歯へFAXにてお申し込みください。

FAX : 06-6774-0488

- 貸出は、市学歯事務局まで取りに来ていただくか、または、市学歯から貸出日までに宅配致します。
- 返却は、事務局へお持ちいただくか、宅配でも結構です。

4. 注 意 事 項 ● 位相差顕微鏡は備品の中の『取扱説明書』や操作方法を録画したCDファイルを参考にしてください。
● 咬合力計のディスプレイブルキャップは、測定する児童生徒の人数分の個数を記入してください。
咬合力計で使用する「ディスプレイブルキャップ 20コ」、「キシリトール咀嚼チェックガム 20コ」、
□唇閉鎖力測定器で使用する「りっぷるボタン 10コ」は、無償支給いたします。
ディスプレイブルキャップ:1コ×46円、キシリトール咀嚼チェックガム:1コ×112円、りっぷるボタン:1コ×80円
それ以上の個数が必要な場合は有償支給となりますので、ご了承ください。
- かみかみセンサーは小学校低学年用のSサイズ、小学校高学年以上のMサイズとも5台まで貸出できます。
 - それぞれの器材の付属品や備品は無くさないように返却をお願い致します。

5. 担当者連絡先 〒543-0033 大阪市天王寺区堂ヶ芝1-3-27 大阪府歯科医師会館内
大阪市学校歯科医会 事務局 伊牟田 裕加

☎ 06-6772-8362

お知らせ

1 第64回大阪市学校歯科保健研究大会 録画配信 (以下URL・QRコードより視聴可)

期間／令和6年3月7日(木)～4月19日(金)

第1部 <https://youtu.be/Sh7pQaLJjJE>



第2部 <https://youtu.be/6KnLUIFHlJQ>



2 第3回支部長会

日時／令和6年3月16日(土)午後1時30分～ 場所／府歯第6会議室

3 臨時総会

日時／令和6年3月21日(木)午後2時～ 場所／府歯第6会議室

4 新任学校歯科医研修会

日時／令和6年4月11日(木)午後2時～ 場所／府歯大ホール

5 第1回支部長会

日時／令和6年6月15日(土)午後1時30分～ 場所／府歯第6会議室

6 定時総会

日時／令和6年6月20日(木)午後2時～ 場所／府歯第6会議室

7 社会見学会

日時／令和6年9月7日(土)午後4時30分～ 場所／天王殿

内容 講演とお茶会の実演・懇親会 講師 京都大徳寺大慈院 住職 戸田惺山 様

市学歯ホームページ更新情報

令和6年

2月16日 第64回大阪市学校歯科保健研究大会を更新しました。

1月25日 令和6年新年互例会並びに受賞祝賀会を更新しました。

令和5年

12月20日 令和5年度学校歯科保健連絡協議会を更新しました。

12月19日 令和5年度「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」
「歯と口の健康啓発標語コンクール」表彰式を更新しました。

12月 3日 令和5年度会員研修会を更新しました。

12月26日 大阪二学歯連絡協議会を更新しました。

11月 3日 図画・ポスター、展示会を更新しました。

10月29日 令和5年度全国学校保健・安全研究大会を更新しました。

10月20日 第87回全国学校歯科保健研究大会を更新しました。

9月16日 令和5年度社会見学会を更新しました。

編集後記

先日、ひょんなことから、メキシコ人と知り合う機会がありその方は、日本の神様と仏さまについて大変興味を持たれており、神社とお寺について質問攻めにあった。なかなか賢い人で母国語のスペイン語の他英語、ドイツ語を話す。私の頭はフル回転、パニック状態であった。ある冊子にこんなことが書いてあったのを思い出した。漁師さんが、生きた魚を種類別に分けて水槽に入れると弱ってしまうが、種類の違う魚を1匹入れると弱らずに市場まで運べる。なるほど この体験で私の脳細胞が元気になったかな? (K.H)

第185号

令和6年3月15日 発行

発行所

〒543-0033

大阪市天王寺区堂ヶ芝町1-3-27

大阪府歯科医師会館内

大阪市学校歯科医会

広報部

電話 06(6772)8362

LION

歯科用

歯肉の防御力を高めて 歯周病を防ぐ!



高濃度
フッ素配合

1450
ppmF

歯周病リスクのある方に

殺菌

+

ホストケア

歯肉の防御

ホストケアとは

歯肉や歯槽骨などの歯周組織へアプローチして、
歯周病を予防する考え方です。

歯肉の防御力を高めるホストケア成分「VE*」が歯周病を予防

*VE(ビタミンE): 酢酸トコフェロール

ダブル殺菌成分

IPMP

[イソプロピルメチルフェノール]

- バイオフィルムに浸透殺菌し、歯肉炎を防ぐ

LSS

[ラウロイルサルコシンナトリウム]

- 浮遊菌を殺菌し、口臭を予防



ホストケア成分

歯肉の防御力を高める

VE

[(ビタミンE) 酢酸トコフェロール]

- 歯肉の防御力を高めて歯周病を予防

TXA

[トラネキサム酸]

- 歯肉の炎症、出血を抑制して歯周病を防ぐ

DENT.

Systema

Haguki Plus

EX

ハグキプラス EX

医薬部外品

低発泡、低研磨、低香味

内容量：90g（販売名：システムHPPb） メーカー希望患者様向け価格/個：935円（税込）

● 6才未満への使用は控え、子供の手の届かない場所に保管してください。 ● 歯周病は歯肉炎・歯周炎の総称です。

ライオン歯科材株式会社

〒111-8644 東京都台東区蔵前1-3-28 TEL 03(6739)9012

ライオン歯科材 検索

<https://www.lion-dent.co.jp/>

商品説明は
こちら ▶



株式会社モリタ